

障がい者の芸術文化活動状況のアンケート調査票(事業所)集約結果 回答数 67 件

■福井県に協力いただき、福井県内にある 441 件の事業所・団体などに対してメールにて調査票の送付、依頼をおこなった結果、**67 件**の回答が寄せられた。

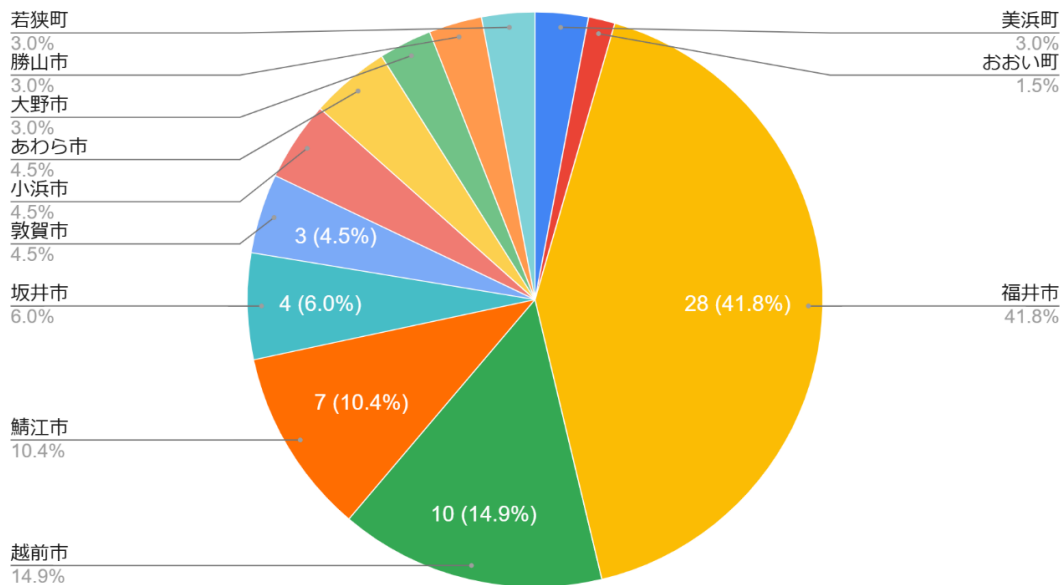
■目的：事業所内で障がい者の芸術文化活動がどのように行われているのか実態を把握する。

今後の作品の発掘・発信を促進に役立てる。

■期間：2025年9月2日～9月22日までの間

Q1、市町村

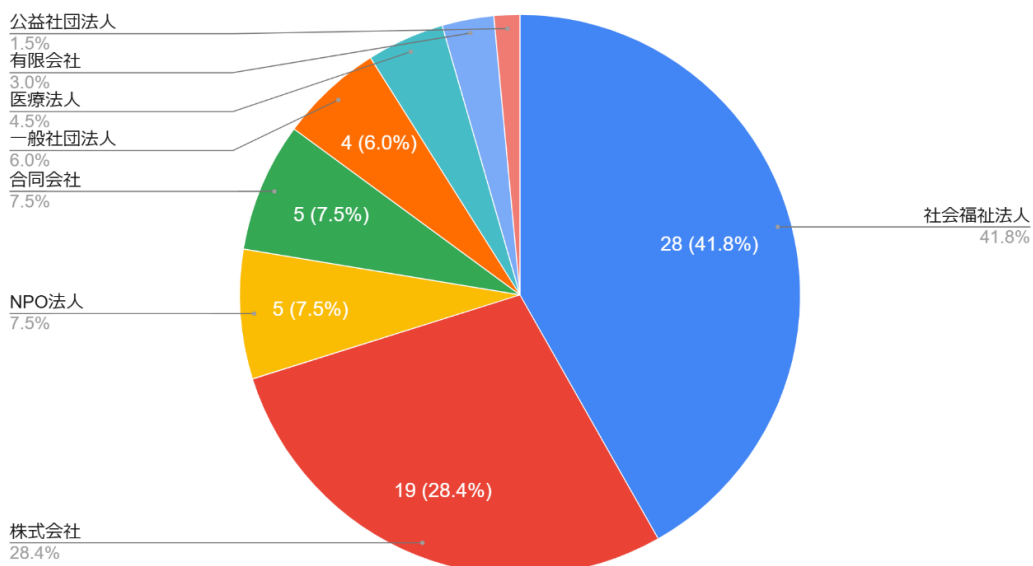
市町村の回答数



【グラフ補足】あわら市 3 (4.5%)、美浜町 2 (3.0%)、大野市 2 (3.0%)、勝山市 2 (3.0%)、若狭町 2 (3.0%)、おい町 1 (1.5%)

Q2、経営区分

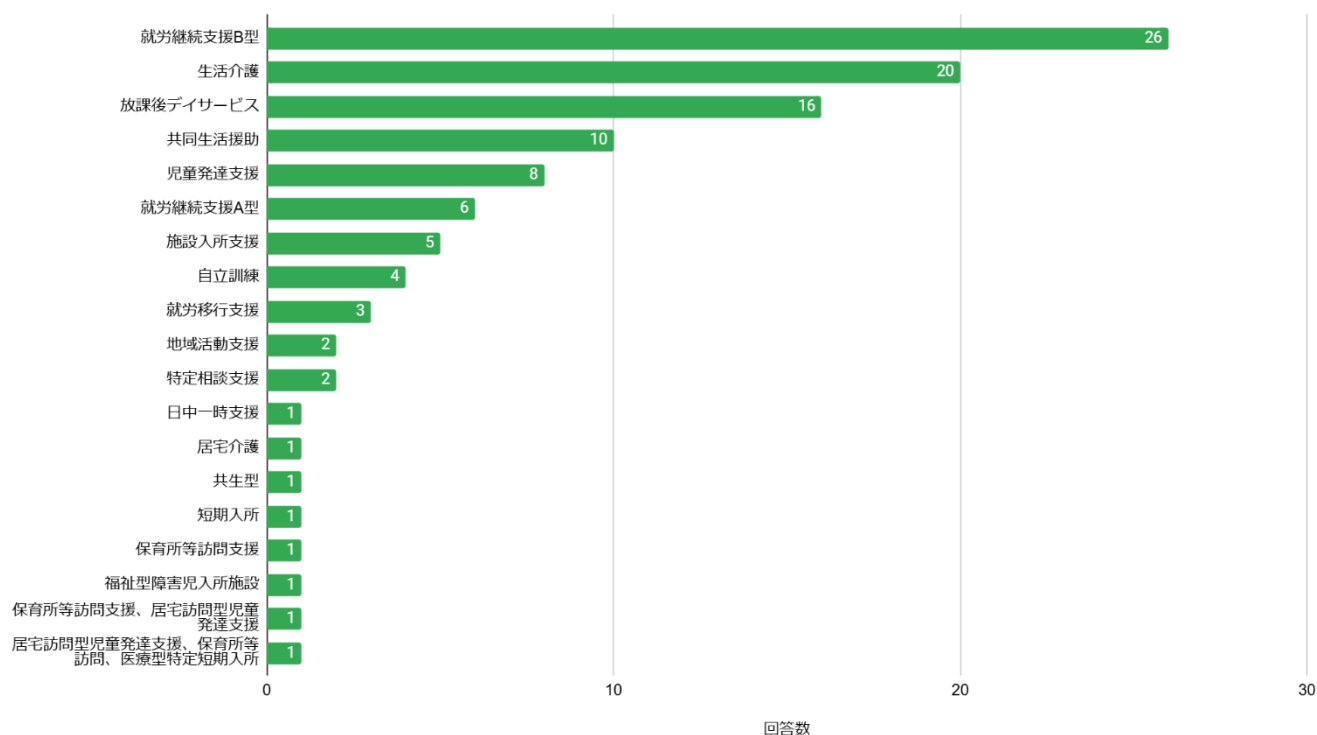
経営区分別による回答数



【グラフ補足】医療法人 3 (4.5%)、有限会社 2 (3.0%)、公益社団法人 1 (1.5%)

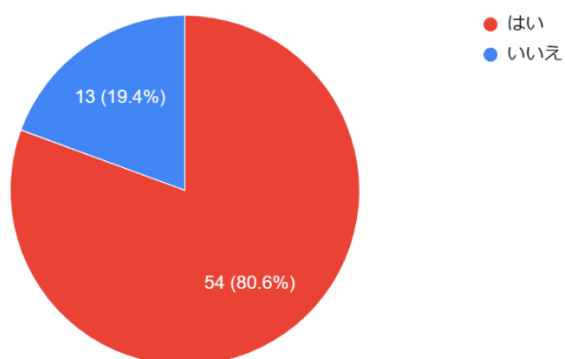
Q3、事業内容

事業内容



Q4、障がい者の芸術文化活動について関心がありますか？

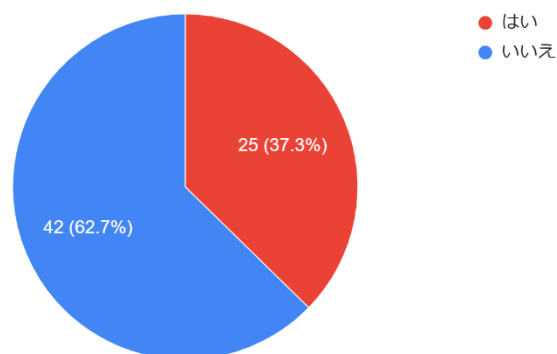
障がい者の芸術文化活動について関心がありますか？



♪ 圧倒的多くの事業者が芸術文化活動に関心をもっている

Q5、あなたの施設では、障がい者の芸術文化活動を行っていますか？

あなたの施設では、障がい者の芸術文化活動を行っていますか？

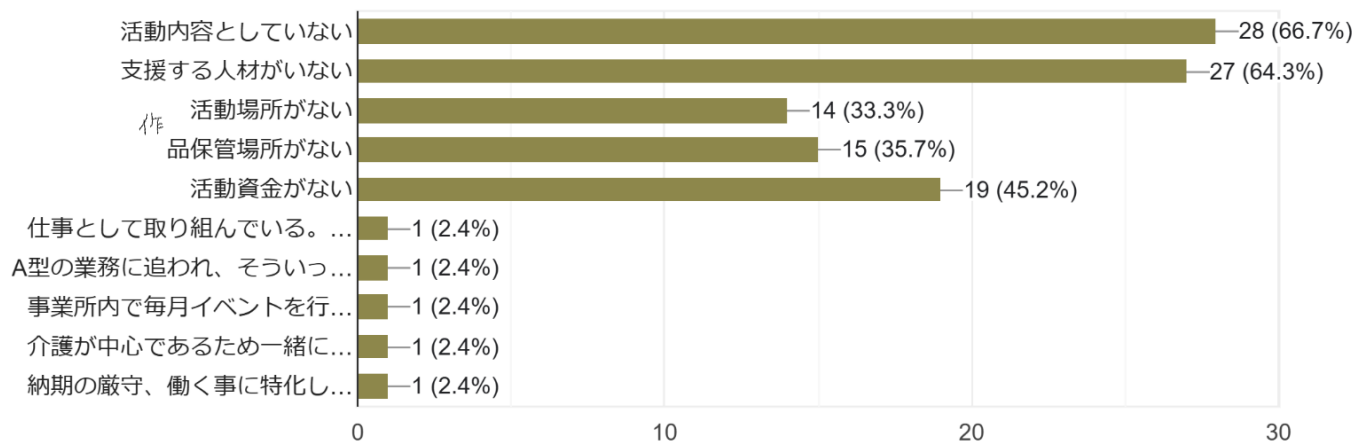


♪ しかし…実施の状況は「いいえ」が多い

Q 6、行っていない理由をご回答ください。

行っていない理由をご回答ください。

42 件の回答



【グラフ補足】 回答全文（グラフの表示：...）

- ・ 仕事として取り組んでいる。（不定期）
- ・ A 型の業務に追われ、そういった余裕はない。
- ・ 事業所内で毎月イベントを行っているが、芸術文化活動というには乏しいと思うので
- ・ 介護が中心であるため一緒に小さい作品は作成している
- ・ 納期の厳守、働く事に特化しているため

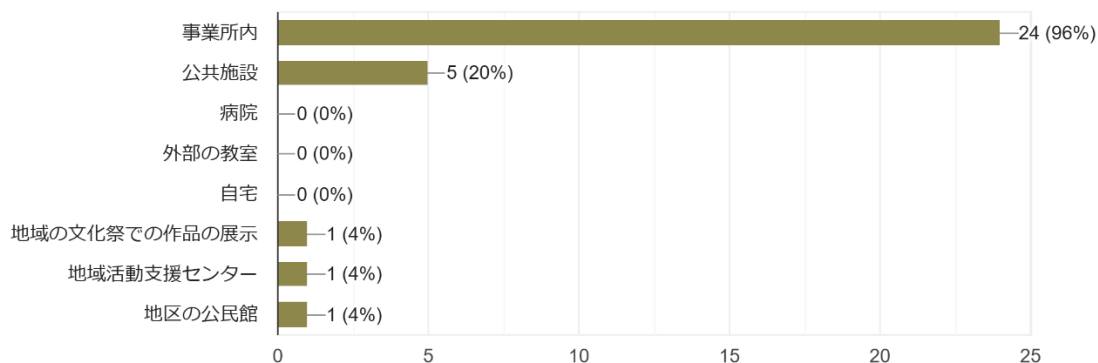
♪ 関心はあるのに「活動内容としていない」は、「支援する人材」「活動場所」や「活動資金がない」など、今日の事業報酬体系や慢性的な人材の不足の表れ…？

♪ では、実際に障がい者芸術文化活動を行っているに「はい」と回答した施設はどのような活動を行っているのか

Q 7、現在はどのような芸術文化活動をしていますか？（活動場所について）

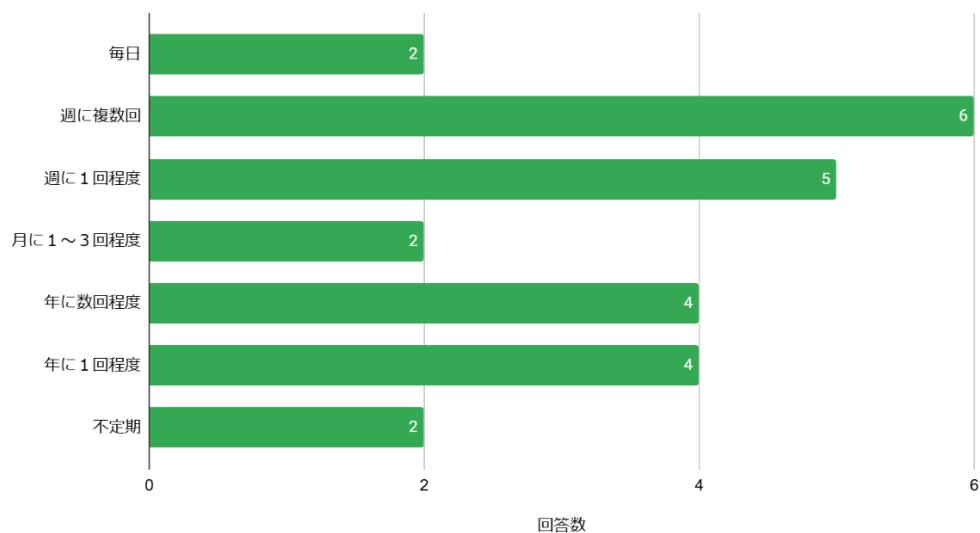
現在はどのような芸術文化活動をしていますか？（活動場所について）

25 件の回答



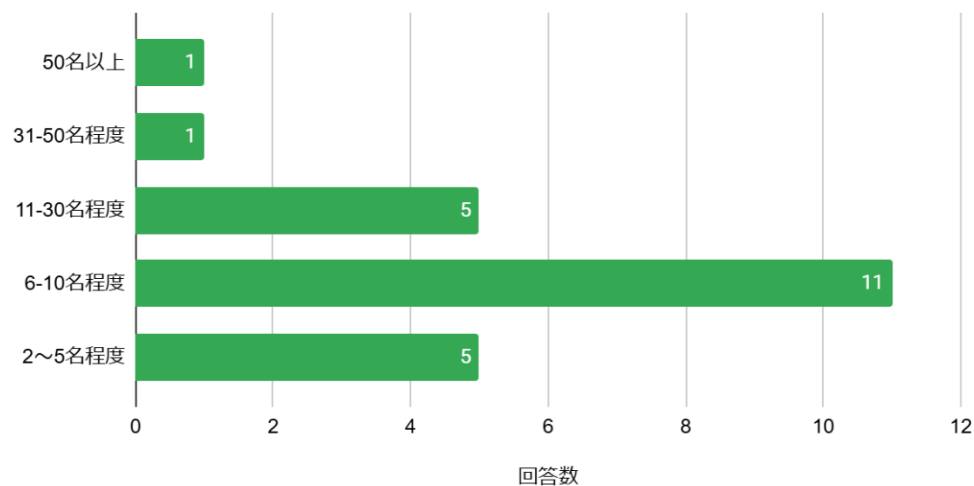
Q 8、現在はどのような芸術文化活動をしていますか？（活動時間について）

現在はどのような芸術文化活動をしていますか？（活動時間について）



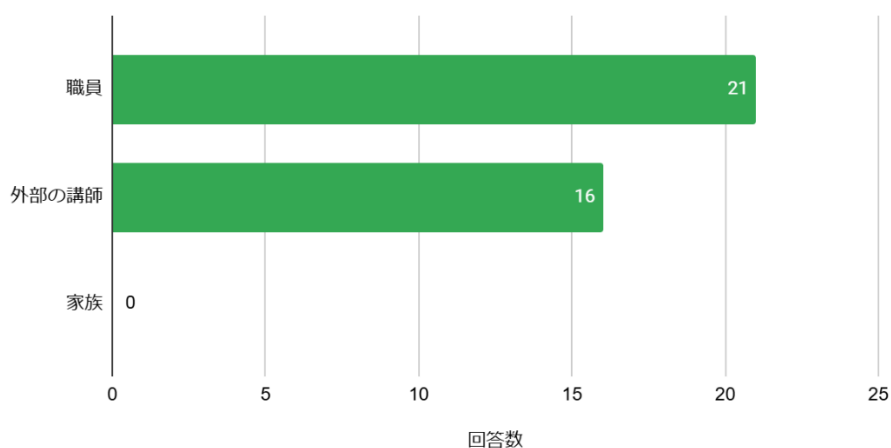
Q 9、現在はどのように芸術文化活動をしていますか？（活動人数について）

現在はどのように芸術文化活動をしていますか？
（活動人数について）



Q 10、現在はどのような芸術文化活動をしていますか？(指導者について)

現在はどのような芸術文化活動をしていますか？
(指導者について)



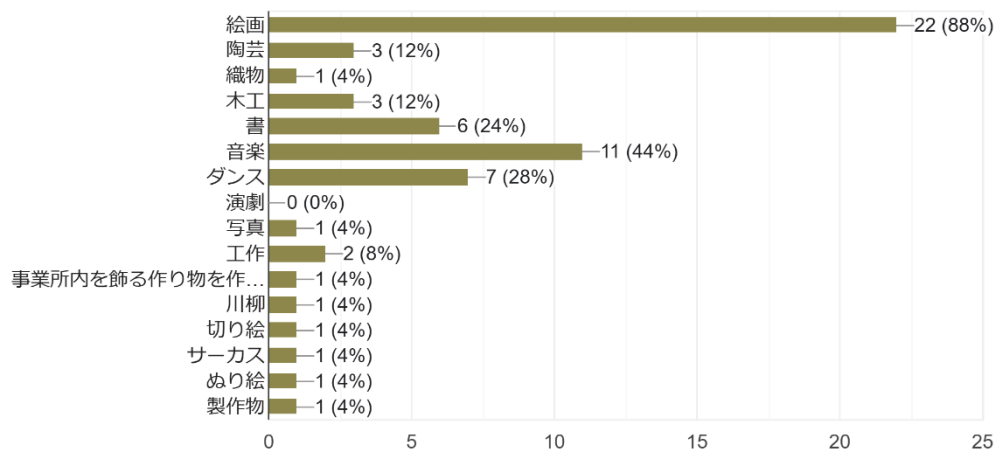
♪主な指導者は、圧倒的に職員が担っている。

しかし一方で外部の講師や外部のボランティア講師を招いて進められているところもある。講師の確保、在り方と「表現活動」(芸術文化活動)実践(めざしたいもの)の在り方の双方からの学び、交流が必要と思われる。

Q 11、現在はどのような芸術文化活動をしていますか？(活動内容について)

現在はどのような芸術文化活動をしていますか？(活動内容について)

25件の回答



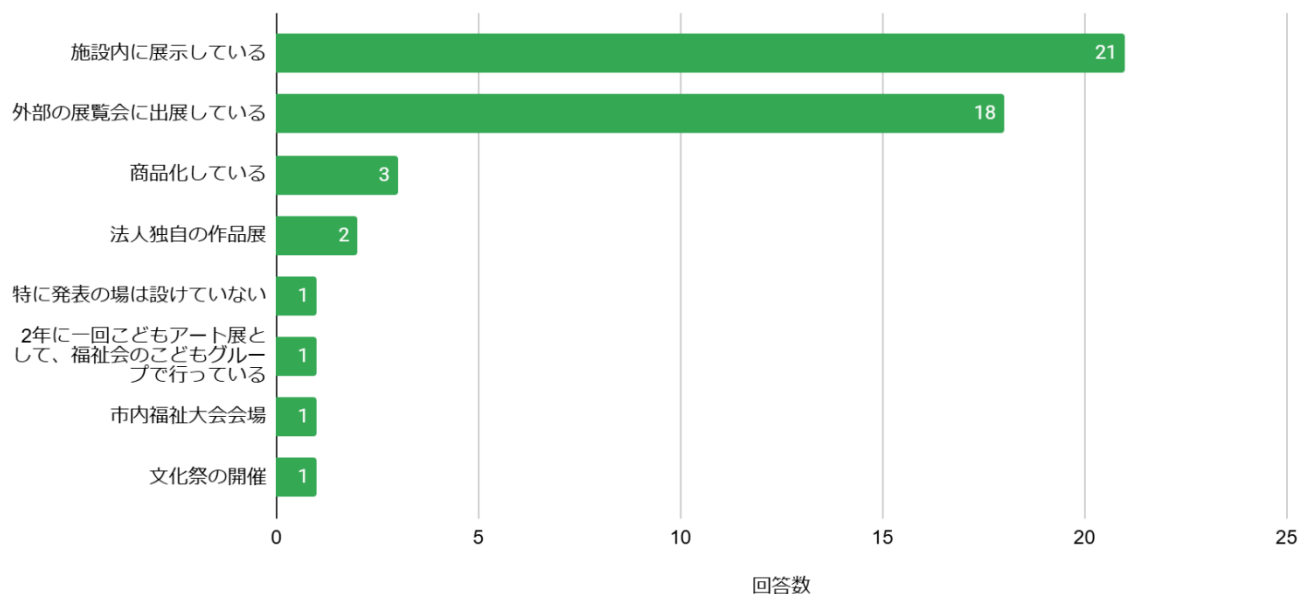
【グラフ補足】回答全文（グラフの表示：...）

- ・ 事業所内を飾る作り物を作成している

♪絵画が最も多く、県内の様々なアート展の開催などの積極的な周知、また出展や応募の機会もあって、取り組みやすい環境にあると思われる。歌やダンスなどのステージパフォーマンスについても積極的に取り組まれていることがわかる。今後の発表の機会の創設・協働を検討していきたい。

Q 12、作品をどのような場で発表していますか？

作品をどのような場で発表していますか？

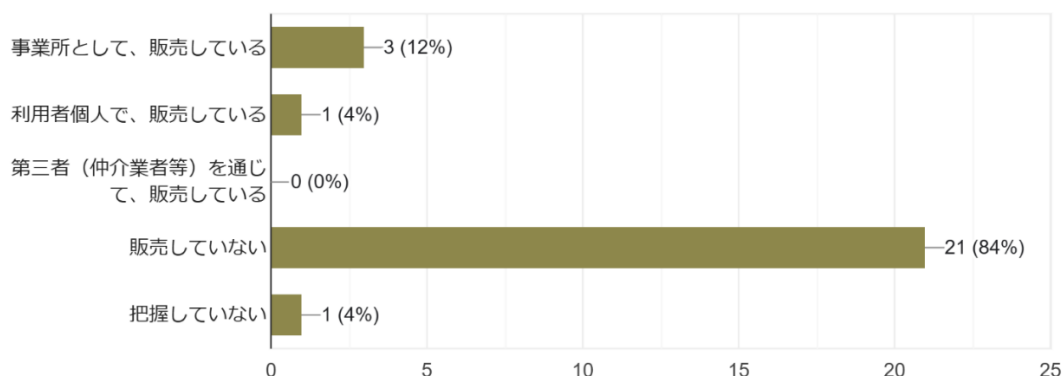


♪施設(事業所内)への展示が一番多い。次いで外部の展覧会への出展が多く、大切な役割を担っていることがわかる。

「特に発表の場は設けていない」も含め、今後の発表の場の在り方を、先進的に開催している皆さんとも協議していきたい。また、「商品化している」という事業所も増えてきていることと思われる。ぜひ今後の研修テーマとして位置づけていきたい。先にも触れたが、ステージパフォーマンス、その他の発表の機会の創設・協働について検討していきたい。

Q 13、利用者の方が制作したアート作品自体を、販売している、または販売したことがありますか？

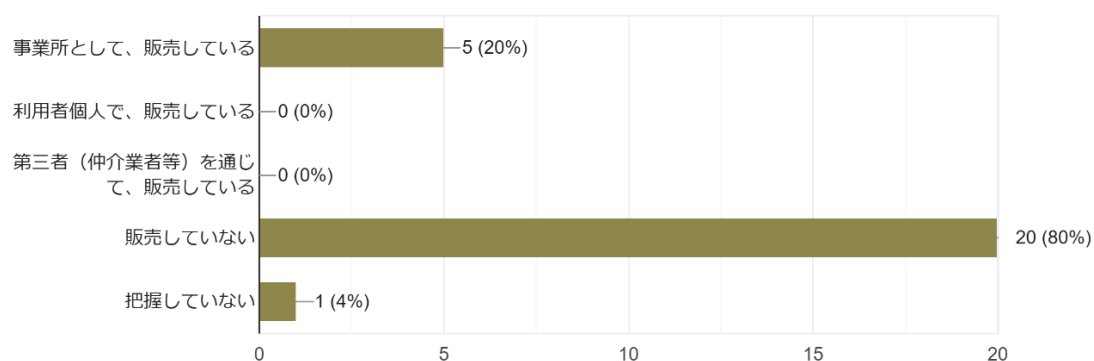
利用者の方が制作したアート作品自体を、販売している、または販売したことがありますか？ 25 件の回答



Q 14、利用者の方が制作したアート作品を二次利用した商品（ポストカード、雑貨等）を、販売している、または販売したことがありますか？

利用者の方が制作したアート作品を二次利用した...売している、または販売したことがありますか？

25 件の回答

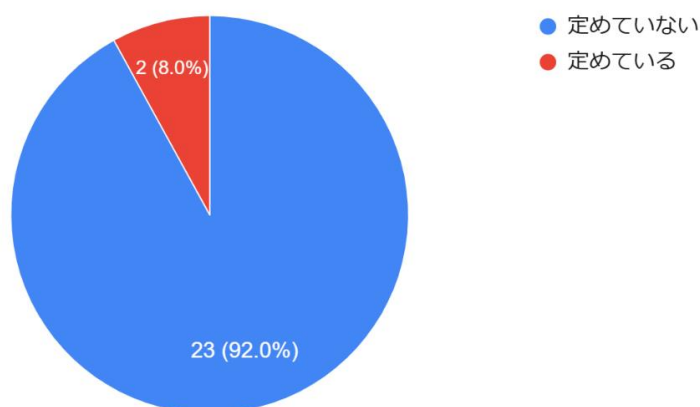


【グラフ補足】 タイトル全文（グラフの表示：...）

- ・ 利用者の方が制作したアート作品を二次利用した商品（ポストカード、雑貨等）を、販売している、または販売したことがありますか？

Q 15、作品の著作権等の帰属、出展、販売、二次利用等を行う場合の取扱いを定めていますか？

作品の著作権等の帰属、出展、販売、二次利用等を行う場合の取扱いを定めていますか？



♪既に「相談」にも寄せられているが、例えば「商品化」した場合、何らかの形で貸し出した場合の本人同意や著作権の問題などをどうしたらよいか…は、大切な研究課題でもある。

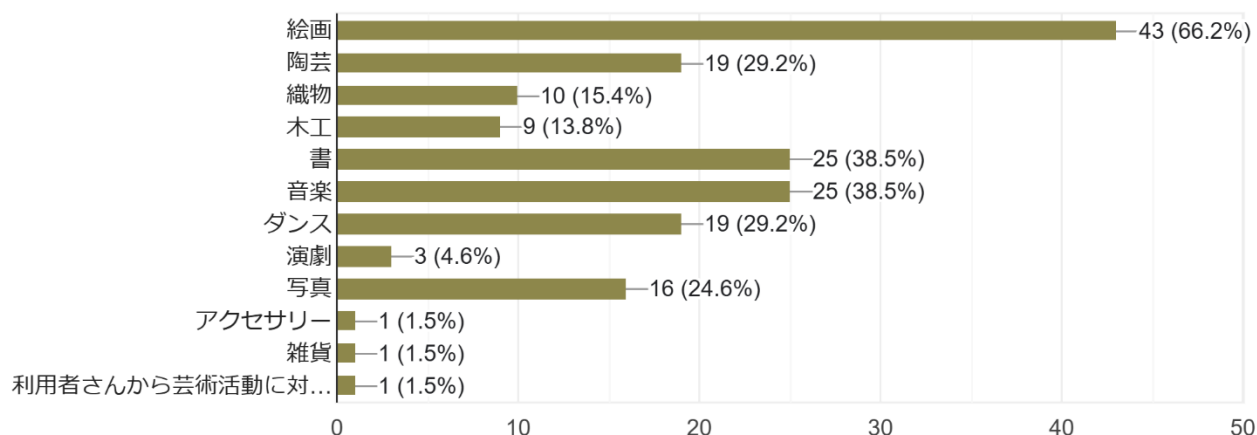
調査ではほとんどが取り扱いについての定めがない。

ぜひ、他府県の実施状況や外部講師などを招いての研修を行っていきたい。

Q 16、今後どのような芸術文化活動を行ってみたいですか？

今後どのような芸術文化活動を行ってみたいですか？

65 件の回答



【グラフ補足】 回答全文（グラフの表示：...）

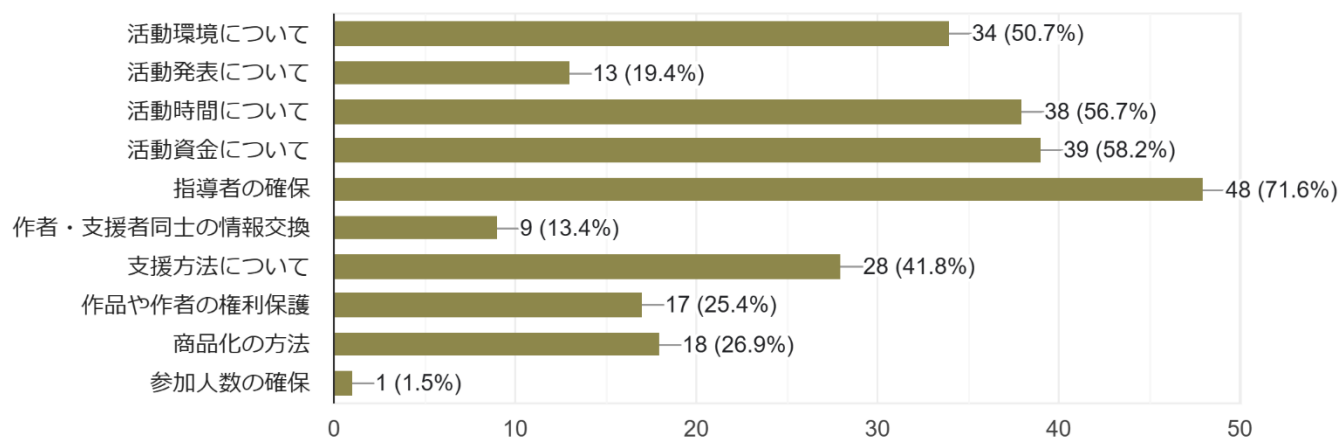
- ・ 利用者さんから芸術活動に対しての希望がない、聞いても興味がないの声が圧倒的。

♪「絵画」に次いで「書」「音楽」への希望が多くある。講師、設備、活動資金などの課題とのコインの裏表の関係も伺える。実施しているところへの見学や交流、研修の機会なども必要に思われる。

Q 17、芸術文化活動において、現在の課題や必要としていることがあれば教えてください。

芸術文化活動において、現在の課題や必要としていることがあれば教えてください。

67 件の回答



♪「活動していない理由」の項でも触れたが、いわゆる「表現活動」(芸術文化活動)実践の在り方、学び、気づきの場を引き続き進めながら、同時にそれらを社会につなげることにより、求められる各種の課題改善、創設などを行政や各種事業・団体との協働の中で進めていきたい。この活動をとおしてこそ「個と集団と社会」障がいのある人たち、社会や環境の相互発達、自己実現、共生社会の実現を夢とロマンをもって進めていかなければならないと考えています。

Q 18、前回（2021 年）のアンケート調査時の時から、環境面やさまざまな状況の変化があればお書きください。8 件の回答※青字は現在芸術文化活動を行っていない施設

1. 作成したアートが商品化され、障害者自身の収入増につながっているのか疑問。
2. 物づくり工房での活動が活発化してきた。好きなことに取り組める利用者の情緒面での安定が観られるようになった。教える場ではないという考え方の定着を日々の実践で支援者が涙と笑いで語り合える機会がふえた。
3. 毎年 1～2 回、県内の公募展に出品している。数少ない発表の場ではあるが続けて出品することで、他の展覧会への出品や新聞社からの取材依頼等、少しずつだが多くの人に知ってもらう機会が増えた。
4. パラアートの幅が広くなり、絵だけだったものがさまざまな商品になり、依頼をいただく案件も出てきた。非公認ではあるが、小浜市非公認 PR キャラクター『浜風りん』というキャラも利用者さんと作成し、利用者さんと共に SNS 運用も行っている。
5. 2021 年には開所していないのでわからない
6. 特になし
7. 2021 年は開業しておりませんでした
8. 発表の機会は時間的人員的な余裕からも基本的にはないが、利用者さんが事業所に作品を持ち寄ってくれたり、公開の場の一つとして事業所も認識していただいているように感じた。

Q 19、福井県障がい者芸術文化活動支援センター(ふくみなーと)に期待すること、相談ご意見などがあればお書きください。10 件の回答※青字は現在芸術文化活動を行っていない施設

1. いつもイベントの案内ありがとうございます。今後も様々なイベントの案内や研修などお願いします。
2. 越のルビーアーティスト派遣事業の規模を拡大してほしい（障害者に対する文化芸術活動のすそ野を広げる取り組みをしてほしい）。
3. 絵画講師を探していると相談した際に丁寧に対応して下さった。
4. 合同作品展の企画や実践報告会、また外部の方の講演会を通して、関わる人の意識を高められる機会の提供があると嬉しい。
5. 商品化するにあたってのアドバイスが欲しいです。
6. 当事業所では、毎日の活動を通してお 1 人おひとりがご自分の作品をつくる環境は整っている。しかし、つくった作品を外部に発信する力が不足しているので発表する機会を設けてもらえると嬉しい（展覧会に限らず、雑誌や web 上での紹介や挿絵としての使用等）。
7. 様々な展示会やパラアートの認知を進めれる施策をお願い致します。
8. 今から理解して、参加して行ければと思う
9. 特になし
10. 余暇支援は生活を送る上で大変重要なことだと思いますし、活動を通して障害の理解促進や当事者の QOL の向上など、多角的な取り組みにつながることを期待しています。